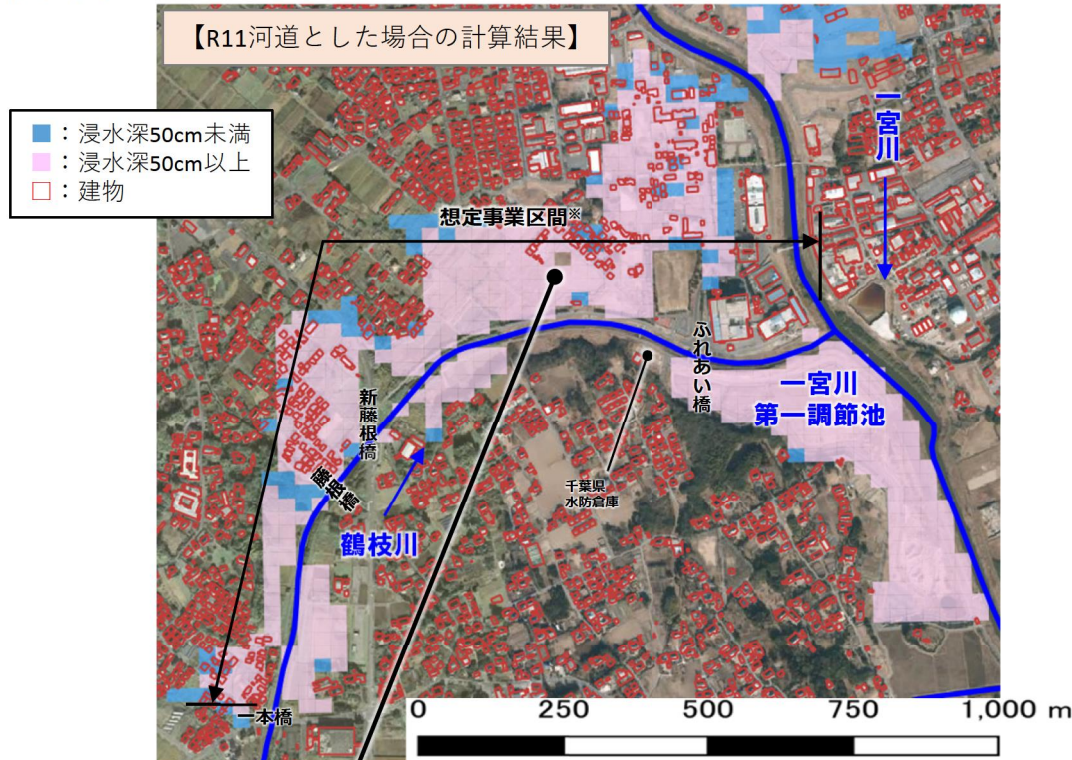


R5年9月台風第13号の際に、鶴枝川合流点付近で溢水が確認された。検証会議において、R11年度末までに一宮川流域浸水対策特別緊急事業が完成したとしても、鶴枝川合流点付近から越水すると計算された。解析で河川水位が、合流点の計画堤防高+20cmであるバック堤高を超えていることに起因されとなっていることから、バック堤整備を計画する。

■ 平面図



※ 想定区間は、浸水範囲を参考に記載



下永吉地先 痕跡調査（R5 R1比較）



藤根橋から上流左岸方向 R5.9.8

■ 整備イメージ



■ 予算

令和7年度当初予算案について **一 県報道発表資料抜粋 一 令和7年2月県議会で議決**

○ 令和7年度当初予算は、3月に知事選挙を控えていることから、「骨格予算」として編成しました。

Ⅱ 令和7年度当初予算の主な施策

（2）防災基盤の整備

- 激甚化する災害から県民の生命・財産を守るため、河道拡幅などの河川改良や、護岸改修などの海岸保全施設の整備、土砂災害対策や農地防災対策を引き続き実施します。
- 一宮川流域浸水対策については上流域で第三調節池の新設を進めるほか、令和5年9月の大雨による被災を踏まえた鶴枝川の堤防高上げなどに取り組みます。
- ※ 河川・海岸・砂防事業、農地防災事業、一宮川流域浸水対策特別緊急事業などについては、継続事業や工程上、年度当初から必要な事業費のみを計上しており、今後の補正予算で対応することを予定しています。

○一宮川流域浸水対策特別緊急事業〔再掲〕（河川整備課）

1,720,940千円（R6 6,115,900千円）
（債務負担行為 1,750,000千円）

令和元年度の災害により、甚大な被害が発生した一宮川について、上流域や支川における河川改修や調節池の新設、中下流域における河道掘削や護岸工に引き続き取り組むとともに、令和7年度は、一宮川の支川である鶴枝川の堤防高上げを新たに実施します。

〔主な事業〕

・一宮川上流域、支川における河川改修等	1,000,000千円（R6 1,240,000千円）
・一宮川中下流域における河道掘削や護岸工	100,000千円（R6 60,000千円）
・茂原市街地や鶴枝川等における局所的な改修	600,000千円（R6 712,500千円）